

Top Interview

トップインタビュー

— 変革に挑む —

まとめ／堀水潤一 撮影／有本ヒデア

学校法人西大和学園
会長

田野瀬良太郎



西大和学園の新たなチャレンジ。 中高、短大の実績を生かし 4年制大学を開学する

1 1986年に西大和学園高校を設立した当時、私は奈良県議会議員でした。その少し前、経済的に厳しいなかで始めた保育園経営を通じて、子どもたちの可能性と教育の素晴らしさを実感したことがきっかけでした。それから27年、同校は全国屈指の進学校に成長しました。その後、衆議院議員を6期務めるかたわら、93年に西大和学園カリフォルニア校を、98年には白鳳女子短期大学を開学しました。そうした歴史の上にたち、2014年に、満を持して大和大学を開学する予定です。いずれは総合大学に発展させていきたいですが、まずは保健医療学部と教育学部の2学部体制でスタートします。いずれも私たちの得意分野で

す。保健医療については、高い国家資格取得率・就職率を誇る短大での実績に自信をもっていますし、西大和学園中高を始めとした学校作り、教員養成の経験も大いに生かします。両学部とも、人間力・人間性をベースとした学問分野ですから、知識や技術の修得だけではなく、一人ひとりの学生にしっかりとかわる大学でありたいと考えています。かつての大学は自主自立の校風が普通で、私自身も1年におよぶ海外放浪経験が政治を志すきっかけになりました。しかし時代は変化しています。自主性の名のもとに、無関心でいるのではなく、社会に出たときに自主自立できるだけの基盤作りを行うことが使命だととらえ、面倒見の良い大学であり

たいと思います。そのために教員に必要なのは情熱です。先生方が真剣に向き合うことで子どもたちはもちろん、学校自体も変わることを、私はこれまでの経験で知っています。

教育学部では、そうした情熱にあふれた先生を育てたく思います。西大和学園中高での体験の機会を増やし、生の教育現場に触れてもらいます。日本の教育界をリードしていくような先生を養成したいのです。保健医療学部においては、コミュニケーション力に優れた、人の痛みがわかる人間味のある医療人を育てます。加えて、グローバル社会で通用する人材を養成したく思います。例えば看護師のなかには、被災地や発展途上で働きたいとか、国際機関に勤めたいという希望をもつ方も大勢います。リハビリ職も同様です。こうした大きな志をもつ学生を応援していきたいと思っています。そのため、夢や目標をもつ若者を歓迎しますが、いっぽうで、来てくれた若者をそうした気持ちにさせるのも私たちの仕事です。

大和大学のスローガンである「大志を、まことえ。」とは、ハングリー精神に欠けると言われている今の若者に対するメッセージであると同時に、私たち大学側に向けた言葉でもあります。

【会長プロフィール】たのせ・りょうたろう●1943年生まれ。名古屋工業大学工学部卒業。五條市議会議員(2期)、奈良県議会議員(2期)、衆議院議員(6期)を歴任。自由民主党第48代総務会長。学校法人西大和学園理事長(1986~2008年)

【大学プロフィール】大和大学2014年度開学予定(設置認可申請中)。教育学部(教育学科)、保健医療学部(看護学科、総合リハビリテーション学科)の2学部3学科。キャンパスは大阪府吹田市のJR吹田駅から徒歩約5分。